

新しいシイタケ害虫対策

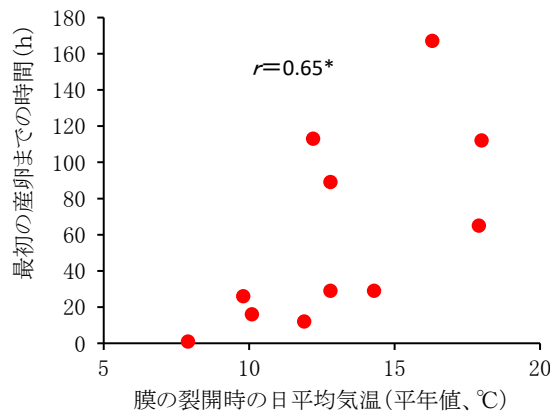
研究課題名：シイタケ栽培等における新たな害虫の対策に関する研究（平成30～令和4年）

シイタケ原木栽培におけるナカモンナミキノコバエ被害について2つの被害回避法を考案した。一つは、温かい時期なら早期収穫だけで被害を免れることが判明したもので、もう一つは、夜間の青色照明で産卵を抑制するというものである。

<早期収穫による被害回避>



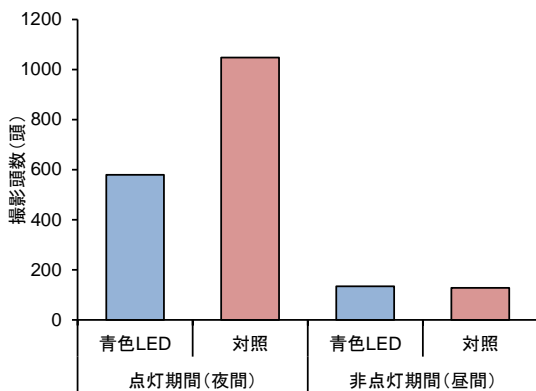
シイタケの下面に群がって産卵するナカモンナミキノコバエ



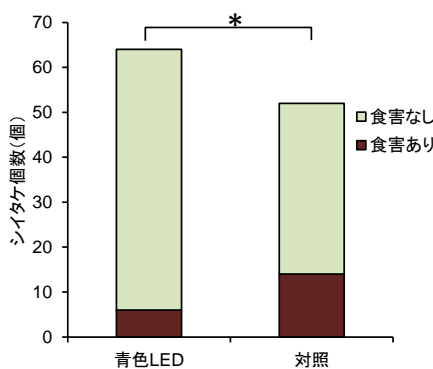
ナカモンナミキノコバエが最初の産卵をするまでの時間と気温の関係

- ・産卵開始は比較的遅く、特に気温が高いと遅くなる傾向があった。
- ・そのため、温かい時期（12月～3月以外）は早期に収穫することで、被害を回避できる。

<青色照明による産卵防止>



夜間照明（青色LED）によるナカモンナミキノコバエの撮影頭数（左図）



青色LEDによる照明



- ・ナカモンナミキノコバエが産卵する夜間にほだ木を照明することで産卵を阻害し、被害が軽減された。

【静岡県農林技術研究所（森林・林業研究センター）森林育成科】
TEL : 053-583-3121 e-mail : FFPRI@pref.shizuoka.lg.jp